

レセプト電算処理システムによる診療（調剤）報酬請求について

レセプト電算処理システムの導入に伴い、下記のとおり提出をお願いします。

【 電子媒体 】

電子媒体は正本・副本を作成し、正本に所要の事項を記載したラベル（別紙1）を貼付して正本のみ提出します。提出に当たり、破損等を防止するため、保護ケース等を使用してください。副本については、正本の媒体不良等、再提出に備えて保険医療機関（薬局）で保管していただきます。

《以下の点にご注意ください》

- ① 電子媒体にデータが収録されているかを確認
- ② データのファイル名を確認（※）
- ③ 提出先（国保連合会 ←→ 支払基金）を確認

（※）医科は「RECEIPTC.UKE」、歯科は「RECEIPTS.UKE」、調剤は「RECEIPTY.CYO」というファイル名で作成して下さい。それ以外のファイル名では受付できません。

またフォルダ等が作成されていると、データの読み取りができません。

【 総括請求書 】

レセプト電算処理用の総括請求書をご使用願います。

※電子媒体用総括請求書はこちら→[「医科」](#)・[「歯科」](#)・[「調剤」](#)

【 診療（調剤）報酬請求書（黄色） 】

他県保険者用の「診療（調剤）報酬請求書（黄色）」については提出を省略することが可能です。

【 返戻等による再請求 】

紙レセプトでの返戻分は紙レセプトでの再提出となります。その際は、総括請求書・他県保険者請求書を電子レセプト分とは別に作成し、紙レセプトとして編綴をお願いします。

【 特別療養費のご請求について 】

紙でのご提出をお願いいたします。

【 審査委員会返戻付せんについて 】

レセプト下段の小票に替わり、A4サイズの返戻付せんになります。ご不明な点は審査第1部審査課（03-6238-0259）にお問い合わせください。

【 受付エラー連絡票について 】

本請求開始後、返戻レセプト等と一緒に送付される場合があります。エラーメッセージ冒頭の数字（4桁）が2000番台については、受付エラーでレセプトに出力されなかったものです。修正後再請求をお願いいたします。受付エラー分の再請求については、電子媒体での請求が可能です。

なお、エラーメッセージ冒頭の数字（4桁）が4000番台については、受付済みですので、再請求の必要はありません。

電子媒体への表記

電子媒体への表記については、記録方式、点数表区分、医療機関（薬局）コード、保険医療機関（薬局）名称、診療（調剤）月分、提出年月日及び媒体枚数（請求枚数及び当該媒体の順）並びに支払基金又は国保連の別を記載する。

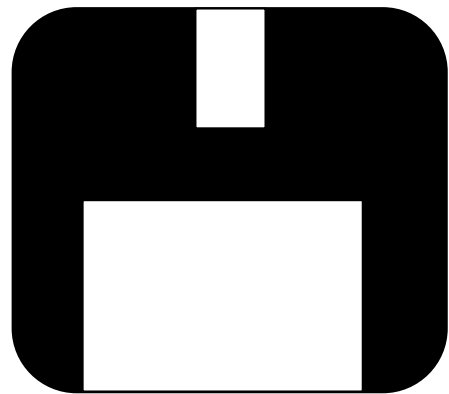
なお、確認試験で提出する電子媒体へは、貼付ラベルの余白に「**試験用**」と朱記する。

1 FD・MOへの貼付ラベル

MS-DOS/CSV形式 (FD・MO用)

| | | | |
|-----------------------------|-----|----|---|
| MS-DOS/CSV形式 (医科・DPC・歯科・調剤) | | | |
| 医療機関（薬局）コード | | | |
| 保険医療機関名称 | 国保連 | | |
| 診療月分 | 年 | 月分 | |
| 提出年月日 | 年 | 月 | 日 |
| 媒体枚数 | 枚中 | 枚目 | |

FD・MO



2 CD-Rへの表記

レーベル面にシール等を貼付せずに、フェルトペン等により記入すること。

| | | | |
|--------------|--------------|----|---|
| 医療機関（薬局）コード | | | |
| 保険医療機関（薬局）名称 | | | |
| 点数表区分 | 医科・DPC・歯科・調剤 | | |
| 診療（調剤）月分 | 年 | 月分 | |
| 提出年月日 | 年 | 月 | 日 |
| 媒体枚数 | 枚中 | 枚目 | |
| 国保連 | | | |

